

高松サポート合同庁舎記者クラブ  
池田記者クラブ  
徳島県政記者クラブ

平成28年10月24日  
四国地方整備局  
四国山地砂防事務所  
徳島県  
美馬市

## 大規模土砂災害を想定した訓練を実施します ～関係機関が一堂に会した合同対応訓練（美馬市）～

近年の土砂災害の発生等を踏まえて、台風の接近に伴う大雨等により発生する恐れのある大規模土砂災害（河道閉塞等）を想定した対応訓練を実施します。

この訓練は、徳島県美馬市において河道閉塞および地すべり等が発生したことを想定し、土砂災害発生前からその後の対応までの一連の流れを関係機関が一堂に会して合同で訓練を行うことにより、①各機関の責務や役割についての確認、②関係機関の連携強化および大規模土砂災害に対する知識の醸成と意識の向上等を図ることができます。

### 1. 開催日時

- 平成28年10月28日（金）13：00～17：00  
【受付開始12：30 訓練開始13：15】

### 2. 開催場所

- 「美馬市 穴吹農村環境改善センター 多目的ホール」  
（徳島県美馬市穴吹町穴吹字安成73）

### 3. 共催

- 四国地方整備局
- 四国山地砂防事務所
- 徳島県
- 美馬市

### 4. 訓練方法

災害発生前から発生後の時間経過を追って、想定される事態等の災害条件を各機関に与え、最適な対策内容等を考えながら、質疑応答により進める「学習型訓練」で実施します。

### 5. その他

- 記者席及び傍聴席を用意しています。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.6防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

問合せ先（○：主たる問合せ先）

国土交通省 四国地方整備局 河川部 河川計画課 TEL:087-851-8061  
課長補佐 白石 隆（しらいし たかし）

国土交通省 四国地方整備局 四国山地砂防事務所 TEL:0883-72-5400

○副所長（技術） 松田 邦泰（まつだ くにやす）

調査課長 平澤 良輔（ひらさわ りょうすけ）

# 平成28年度 大規模土砂災害を想定した合同対応訓練

## 1. 訓練日時

◆ 平成28年10月28日 13:00～17:00

## 2. 訓練会場

◆ 美馬市穴吹農村環境改善センター

美馬市穴吹町穴吹字安成73



出典:「地理院地図」 URL: <http://portal.cyberjapan.jp/>

## 3. 参加機関

- ◆ 国
  - ・四国地方整備局(企画部、河川部)
  - ・四国山地砂防事務所
  - ・徳島河川国道事務所
  - ・気象庁 徳島地方气象台
- ◆ 徳島県
  - ・危機管理部(とくしまゼロ作戦課)
  - ・県土整備部(砂防防災課、河川整備課)
  - ・西部総合県民局(県土整備部美馬庁舎)
- ◆ 美馬市
  - ・企画総務部・経済建設部・木屋平総合支所
  - ・美馬市消防本部
- ◆ 徳島県美馬警察署
- ◆ 四国山地砂防ボランティア協会

## 4. スケジュール

12:30～13:00	集合・受付、アンケート記入
13:00	開会
13:00～13:05	開会挨拶
13:05～13:15	訓練の進め方の確認
13:15～16:30	学習型訓練
16:30～16:45	ふりかえり・意見交換(アンケート記入)
16:45～16:55	全体講評
16:55～17:00	閉会

## 5. 訓練の目的

- 1) 土砂災害防止法ならびに災害対策基本法に基づき、**河道閉塞**や**地すべり**の発見から**住民避難および解除の判断**等までの一連の流れの中で、各機関が果たすべき**責務・役割**について確認すること。
- 2) 各機関の**役割分担**を把握し、現在の**問題点**を把握することで各機関間の**連携強化**につなげるとともに、大規模土砂災害に対する**知識の醸成と意識の向上**につなげること。

## 大規模土砂災害対応に関する主要訓練項目

No	大規模土砂災害対応に関する主要訓練項目	訓練対象機関					
		国	徳島県	美馬市	警察	消防	気象庁
1	【情報収集・伝達、関係機関との情報共有】 災害対策計画等に基づく情報の伝達・共有の対応	●	●	●	●	●	●
2	【災害対策本部、支部の適切な運営】 災害関連情報の内部周知	●	●	●	●	●	—
3	【天然ダムに対する緊急調査、応急対策等の実施】 天然ダムの緊急調査、土砂災害緊急情報の通知・周知対応、天然ダムの応急対策、監視観測対応	●	●	●	—	—	—
4	【地すべりに対する緊急調査、応急対策等の実施】 地すべりの緊急調査、土砂災害緊急情報の通知・周知対応、地すべりの応急対策、監視観測対応	●	●	●	—	—	—
5	【住民避難対応】 避難勧告・指示の時期、範囲	—	—	●	●	●	—
6	【広報対応】 報道機関や住民への状況説明	●	●	●	●	●	●

## 6. 想定する災害イメージ

### 前提条件

台風の接近に伴い、昭和51年9月の台風17号並みの豪雨があった。  
台風の接近に伴い、各機関とも警戒体制以上の体制に入る。施設の被災なし。

### 0 情報収集と警戒活動ステージ (土砂災害発生前の土砂災害警戒情報発表後の対応)

状況: 県と気象台が土砂災害警戒情報発表し、各種気象情報を国、県の出先事務所、美馬市が収集した。  
狙い: ①必要な調査と情報伝達が漏れなく行え、緊急調査の実施判断につなげられること。  
②気象情報や災害発生状況の情報収集を迅速かつ適確に行い、適切に避難勧告等の必要性判断、実施に向けた手続きが行えること。

### I 初動対応ステージ (河道閉塞・地すべり: 事前調査～緊急調査着手判断) (同時多発的土砂災害: 情報収集～現地調査・判断)

状況: 同時多発的な土砂災害の発生情報と河道閉塞形成及び地すべりの第一報の通報を入手した。  
狙い: ①必要な調査と情報伝達が漏れなく行え、緊急調査の実施判断につなげられること。  
②大規模土砂災害発生(同時多発含め)の情報伝達を、各関係機関間で適切に行え、同時多発的な土砂災害対応と河道閉塞対応に関する連携体制の構築など、災害発生に伴う初動対応が行えること。

### II 土砂法改正等に伴う対応ステージ (河道閉塞・地すべり: 緊急調査～土砂災害緊急情報～警戒避難) (同時多発的土砂災害: 住民避難)

状況: 四国地方整備局等により緊急調査着手が通知され、調査着手が示達。同時多発的な土砂災害により、現地調査に着手した。  
狙い: 必要な調査、検討が漏れなく行え、土砂災害緊急情報等が各組織に確実に伝達され、それに基づく住民への警戒避難対応が適切に行えること。

### III 監視観測及び応急対策ステージ (監視観測体制の構築～応急対策)

状況: ①河道閉塞の越流決壊や②地すべり滑動による被害を抑えるため、監視観測体制や応急対策を検討する段階。  
ねらい: ①河道閉塞や②地すべりに対する確かな監視観測体制や応急対策工法、応急対策における役割分担等が適切に行われるか確認すること。

## 7. 学習型訓練とは

### 進行者

訓練参加の各組織をひとつの災害対策本部、もしくは災害対策支所と見立て、それぞれに質問する。



「〇〇で大規模な崩壊が発生し、△△の状態になっている。」との報告が入りました。あなた方の組織では、どのような行動をとりますか？

### 訓練参加者

質問内容に応じて、訓練参加組織内での回答者を決め、発表を行う。



私たちの組織では、〇〇を第一に考え、□□を行います。

### 学習型訓練の特徴

回答者を特定して当てることはしない。あくまでも訓練参加組織に対して質問し、組織として回答する。

回答者は与えられた設問に対して、その場で考え、すぐに回答する(周囲から助言をしても良い)

1. 訓練シナリオ(訓練の進行状況)の理解	進行役がその都度状況説明を行うため、 <b>全員が同じ状況を認識、共有、理解</b> できる。
2. 他機関の災害対応の理解	各機関の回答を順番に聞くため、 <b>他機関がどのような対応</b> を行うか理解できる。
3. 時間軸	進行役が状況をその都度説明し、時間軸にとらわれず、 <b>重要な場面等を切り出して訓練</b> を実施できる。
4. 見学者の理解	参加者と同様に状況説明や回答を聞いているため <b>参加者と同程度の理解</b> ができる。途中から見学してもある程度理解できる。

## 8. 過年度までの訓練実施状況

平成22年度から継続的に実施しており、今回で7回目(徳島県内では3回目)の開催となる。

平成22年度 H23.1.26(水)	高知県の町 (すこやかセンター伊野 大会議室)	仁淀川水系仁淀川
平成23年度 H24.1.26(木)	徳島県阿南市 (阿南市スポーツ総合センター)	那賀川水系那賀川
平成24年度 H25.1.30(水)	愛媛県久万高原町 (久万高原町役場 大会議室)	仁淀川水系久万川
平成25年度 H26.2.27(木)	徳島県三好市 (三好市池田町総合体育館 サブアリーナ)	吉野川水系祖谷川
平成26年度 H27.1.27(火)	高知県梹原町 (地域活力センター ゆすはら・夢・未来館)	渡川水系梹原川
平成27年度 H27.11.2(月)	愛媛県西条市 (西条市役所 5階大会議室)	加茂川水系加茂川



愛媛県西条市(平成27年度)における河道閉塞対応訓練の様子